

ひなんじょ 避難所について知ろう



ひなんじょ 避難所とは

ひなんじょ じたく きょじゅう ひと
避難所は、自宅に居住できなくなった人を、
いちじてき う い ほご ばしょ
一時的に受け入れ保護するための場所です。

とうきょうと がっこう こうみんかん こうきょうしせつ
東京都では、学校や公民館など公共施設が
ひなんじょ
避難所になります。



かぞく はな あ ひなんじょ かくにん
家族と話し合って、避難所の確認をしておしま
しょう。また、避難所でできることをかんが
かぞく はな あ
家族で話し合っておきましょう。

- 1 テーマ 避難所の役割
- 2 ねらい 避難所の場所や役割について理解させる。
- 3 指導内容
 - ・避難所の場所は学校、公民館など公共施設であることを確認する。
 - ・避難所の役割について確認する。

分	○児童の学習活動	◇教師の働きかけ ・児童の反応	◎留意点 ■評価
1	○課題について知る。	◇「今日は、地震などが起こった時に避難をする避難所について考えます。」	◎パネルを使って確認する。
3	○「避難所」についてパネルを使って確認する。 ○避難所の場所や避難所でできることを考える。	◇「大きな地震などが起こって、自宅などにいると危険がある場合に、別の場所に避難します。その場所を避難所といいます。」 ◇「学校や公民館など公共施設が避難所になります。この小学校(幼稚園)も避難所になります。」 ◇「自宅から一番近い避難所はどこですか。」 ・学校が近い。 ・公民館の方が近い。 ◇「避難所では、たくさんの方が避難してくることがあります。避難所で、自分ができることを考えておくことも大切です。」 ・弟の面倒をみる。 ・ご飯を配るなどを手伝う。	◎パネルを使って説明する。 ◎必要性を問い掛けながら確認する。
1	○学習をまとめる。	◇「どこの避難所に避難するか家の人と前もって決めておく必要があります。家の人とも話し合ってみましょう。」	■避難所について理解している。